



RENAISSANCE OF AGRICULTURE IN YAMANASHI 2010

やまなし農業ルネサンス 普及センターの活動報告

産地でのGAPの取り組み進む

農業生産工程管理手法

「中北地域普及センター」



●GAP打合せ



GAP

中北地域では、関係するJAと市町、県の担当で中北地域GAP手法推進会議を設置して、農産物の安全・安心確保に向けて、GAPを産地に導入する取り組みを行っております。

GAPとは、生産者自らが農業生産工程の全体を見通して、特に注意すべき事項を点検項目としたチェックシートを作成し、農作業を行いながら点検記帳して、的確な管理を行っているか検証し、次作の栽培管理作業の改善に結びつける手法のことです。

平成20年度には、JA梨北高根支店中玉トマト部会が県下でも早い段階からモデル産地として取り組みを開始しました。平成22年度には、JA甲府市果実部ブドウ部会とJAこま野そ菜部（抑制きゅうり生産者）がモデル産地として取り組みを始めています

果樹産地で「野菜栽培営農講座」スタート!



「峡東地域普及センター」



●熱のこもる研修会場



●組合長あいさつ



JAフルーツ山梨管内は、全国に誇る果樹地域ですが、昨今、農産物直売所においては野菜・花きの販売も伸びており、直売所出荷に向けた生産拡大が求められています。

そこで、今年度より新たな取組みとして、「野菜栽培営農講座」を企画し開催しています。4月13日には、JAフルーツ山梨本所会議室で開講式が行われ講座がスタートし、5月18日には、2回目の講座が行われました。講座では、総合農業技術センターと峡東農務事務所より夏野菜の管理技術や野菜の収穫・鮮度保持技術について、JAフルーツ直売所より農産物直売所の出荷のポイントについて、説明がありました。受講生の皆さんは、熱心に講座を受講されていました。本講座は11月まで定期的開催される予定です。講座をとおり、農産物直売所向けの野菜・花きの生産・販売拡大が期待されています。

「みのぶ線市」開催支援

「峡南地域普及センター」



峡南広域行政組合と富士川地域・身延線沿線観光振興協議会では、峡南地域の子供達が地域の特産品の収穫から販売まで行うことで「地元の誇り」を学んでもらう「みのぶ線市」の取り組みを昨年度から行っています。峡南地域普及センターも検討会へ参加し、イベントの規模拡大に向けた内容の検討や農作物の栽培指導等の支援を行っています。

本年度は年3回の取り組みを予定しており、第一弾として6月に市川三郷町の特産品であるスイートコーン「甘々娘」の収穫・販売を行います。また、今回は新たな取り組みとしてサツマイモの定植作業も行い、10月には自分たちで植えたサツマイモを収穫する予定です。

今後は、10月に身延町の特産品「曙大豆」の枝豆、12月に市川三郷町の特産品「大塚人参」の収穫・販売を行う予定です。



桜井地区における企業の農園活動支援



「富士・東部地域普及センター」



上野原市秋山の桜井地区は、富士電機グループと「企業の農園」活動に取り組んでいます。企業の農園とは、「農地を有効利用するために、労力を提供してほしい農村地域」と「社員の福利厚生や研修、地域貢献を行いたい企業」とが手を携えて取り組む農業活動で、都市との交流の中で地元の伝統的な農法や文化の理解を深めながら農村地域の活性化を進めます。

4月には、調印式と活動拠点で看板の除幕式が行われました。また、地元農家の指導の下、ジャガイモの芽かき・土寄せ、スイカの定植、獣害防止柵周辺の除草、この地域で昔から行われている落ち葉堆肥づくり等の作業に80名参加しました。

今後は月に1回農作業等の活動が計画されており、秋には収穫祭を開催します。普及センターでは、さらに地域の未利用農地が活用されるよう、展示ほの設置や講習会・交流会の開催等の支援を進めていきます。



●獣害防止柵周辺の除草

